



令和7年(2025年)1月27日 公表  
 令和6年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

マダイ (日本海西部・東シナ海系群)

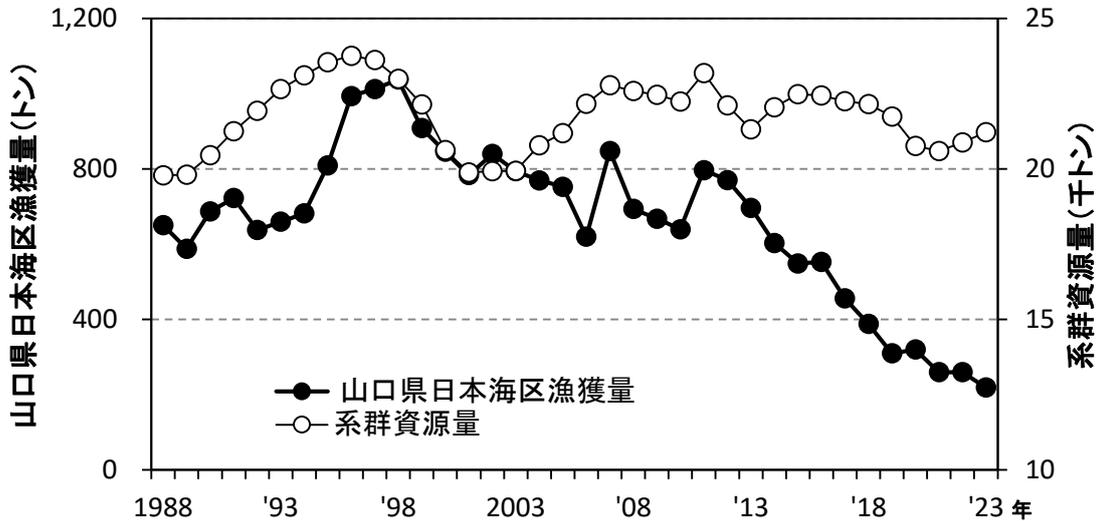


図 山口県日本海区マダイ漁獲量 (漁業・養殖業生産統計年報) 及び日本海西部・東シナ海系群マダイ資源重量 ((国研) 水産研究・教育機構資源評価報告書)の推移

【漁業】マダイは主に沖合底びき網で漁獲される。沿岸域では釣り、刺網、小型底びき網で主に漁獲される。主な漁獲サイズは24~36cm (2~3歳)である。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、資源量の変動傾向と大きく異なり、1988年の651トンからしだいに増加し、1998年には1,038トンに達した後、減少傾向に転じた。特に2012年以降に激しく減少し、2023年の漁獲量は219トンと過去最低を更新した。

【資源状態】資源量 (1歳以上) は1988年以降小幅な増減を繰り返しながら、19.5千~23.8千で推移し、2023年は21.2千トンであった。

2023年の親魚量 (SB) は最大持続生産量 (MSY) 実現する親魚量 (SB<sub>msy</sub>: 目標管理基準値) を下回った。また、2023年の漁獲圧 (F) は、MSYを実現する漁獲圧 (F<sub>msy</sub>) を上回った。

2023年漁獲量 (トン)	MSY (千トン)	2023年親魚量 (千トン)	目標管理基準値 (千トン)	限界管理基準値 (千トン)	禁漁水準 (千トン)
4,969	6.7	14.5	39.3	9.0	1.4

\*暫定値